

Fig. 1

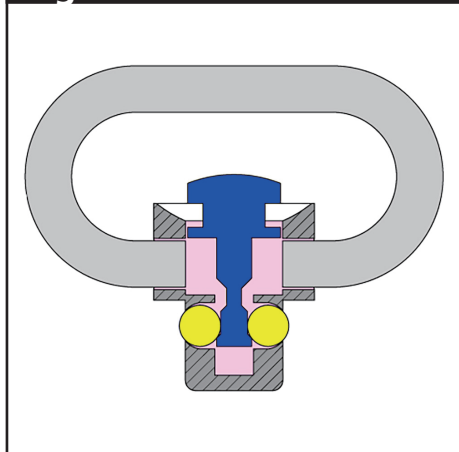
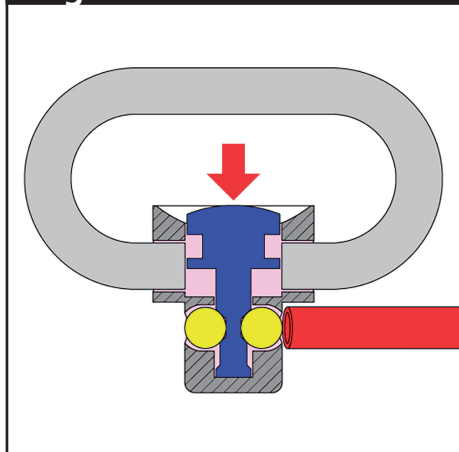


図2は着脱ボタンを押し込んだ状態です。内部部品が下がるとロックが解除され、内側の空間にボールが移動できるようになります。この状態でカメラマウントやレンズマウントに装備されているQDソケットに着脱します。

《重要》

装着後は着脱ボタンが元の位置に戻っていることを必ず確認してからご使用ください。スイベル内部（図のピンクの部分）に小さな砂粒や埃などの異物が入り込んでしまうと、ボールやボタンの動きが制限され、固定されずに脱落事故につながる可能性があります。簡単に着脱できるシステムは、簡単に落下する危険性と常に隣り合わせです。充分にご注意いただきますようお願いいたします。

Fig. 3



安全にご使用頂くため、必ず最後までご一読ください。

図1はQDスイベルの断面図です。

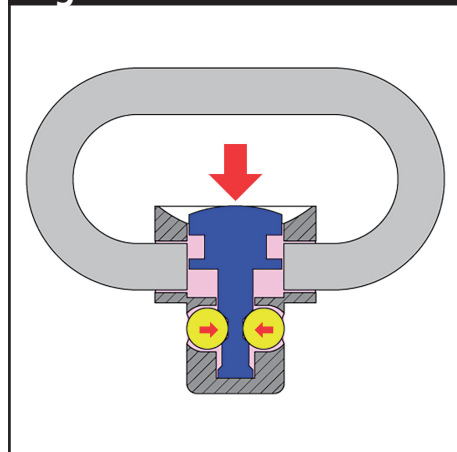
青色で示す着脱ボタンから続く内部部品によって、黄色で示すボールが内側に移動しないよう押さえられています。図が見つからないため省略してありますが、着脱ボタンはスプリングで常に上方向に押し上げられ、ボールは物理的にロックされています。スイベルが正常に機能していれば、このボールがQDソケット内の溝に嵌合し、スイベルがソケットから不用意に抜けることはありません。

※ ご使用前に QD スイベル・QD ソケットともに砂や埃などの異物が付着していないか、必ずご確認ください。

※ QD-OVAL・QD-DLOOP・KQD-DLOOP ともに内部構造は同一です。

※ QD スイベルを分解することはできません。

Fig. 2



スイベルは定期的なクリーニングが必要です。ご使用の頻度にもよりますが、頻繁に使用される方は少なくとも1ヶ月に1回は下記の方法にて清掃してください。

1. WD-40、CRC 5-56 などの**防錆潤滑剤**、スプレー缶型の**エアダスター**、ペーパー**ウェス**やぼろ布など**3点**をご用意ください。また汚れてもよいような服装で作業されることをお勧めします。
2. 着脱ボタン周囲の隙間から潤滑剤を流し込み、各図のピンク色部分に充分行き渡った状態で**着脱ボタンを10回ほど繰り返して押し**ます。
3. 図3のように着脱ボタンを**完全に押し込んだ状態で**、ボール周囲に僅かにできる隙間にエアダスターのノズルを当て、**4カ所全てのボールをエアブロー**します。その際スイベルをウェスで包み、周囲に潤滑剤が飛び散らないよう注意しながら、潤滑剤と一緒に汚れを他の隙間から流し出すように意識してください。
4. スイベルは分解することができないためどうしても感覚的な作業となりますが、ボタンを押し込む際やスプリングの力で戻ってくる際に抵抗や引っ掛かりがないか確認しながら、必要に応じて上記2～3の手順を数回繰り返します。
5. 内部に防錆潤滑剤が液体の状態が残らないよう（あとから染み出して機材を汚さないよう）、できる限りエアブローにて除去してください。金属表面にごく薄い膜として定着していれば、防錆・潤滑性ともに十分に機能しますので極力除去するようにしてください。最後にスイベルの表面にも潤滑剤が残らないよう、ウェスで綺麗に拭き取ります。